

平成27年第3回

小中学校組合議会定例会会議録

開催日 平成27年11月18日

南あわじ市・洲本市小中学校組合

平成27年第3回 南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会

平成27年11月18日(水)

午前 9時40分 開議

議事日程 (第1号)

- 日程第1. 会議録署名議員の指名
- 日程第2. 会期の決定
- 日程第3. 認定第1号 平成26年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第4. 議案第7号 平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算(第1号)
- 日程第5. 一般質問

会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 認定第1号

日程第4 議案第7号

日程第5 一般質問

出席議員（10名）

1 番	山下裕次君	2 番	萩原宗治君
3 番	平郡平君	4 番	間森和生君
5 番	岡崎稔君	6 番	中島義晴君
7 番	多田宗儀君	8 番	小島一君
9 番	登里伸一君	10 番	阿部計一君

欠席議員（なし）

事務局出席職員職氏名

教育総務課長	山見嘉啓君
教育総務課課長補佐	坂田真由美君

説明のため出席した者の職氏名

管理者	中田勝久君
副管理者洲本市長	竹内通弘君
副管理者南あわじ市副市長	川野四朗君
組合教育長	岡田昌史君
洲本市教育長	河上和慶君
教育次長	藤岡崇文君
会計管理者	堤省司君
学校教育課長	廣地由幸君

午前9時40分 開会

○議長（阿部計一君） おはようございます。

開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

本日、平成27年第3回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会が招集されましたところ、議員並びに執行部各位には、公私何かと御多用のところ御出席をいただき、ここに開会の運びとなりましたことを心から厚く御礼を申し上げます。

さて、本日付議されます案件は、平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定、平成27年度一般会計補正予算であります。

議員各位においては、慎重に審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます、開会に当たり御挨拶といたします。

続いて、管理者 南あわじ市長 中田勝久君より御挨拶がございます。

○管理者（南あわじ市長 中田勝久君） 皆さん、おはようございます。

腰痛の治療中でありまして、自席からの行政報告なり御挨拶にかえたいと思っております。

まず、つい先日、パリで本当に痛ましいテロの事件がございました。お亡くなりになられた方、また、けがをされた方に哀悼の意とお見舞いを申し上げたいと思っております。

さて、きょう、平成27年第3回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会、皆さん方にはお元気な姿で御出席賜りまして、まことにありがとうございます。

本日、御審議を願う案件は一つには認定第1号、平成26年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定、そして、もう1件は、議案第7号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合補正予算（第1号）でございます。

組合の小学校、中学校におきましては、今、校舎の改修なり、また情報機器の導入なり、いろいろと進めております。

本年度計画した分は一応順調に進み、また、来年度は来年度で取り組みをしていきたい、このように思っております。

どうぞ、皆さん方にはこれからもこの組合議会発展のために深い御理解、御協力をお願い申し上げまして、冒頭の御挨拶にかえたいと思います。

○議長（阿部計一君） ただいまの出席議員は10名であります。

定足数に達しております。

よって、平成27年第3回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会を開会します。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

直ちに日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第86条の規定により、議長より指名します。

2番 萩原宗治君、3番 平郡 平君をお願いをいたします。

日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。

今期定例会の会期は、本日1日間にしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（阿部計一君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間に決定をいたしました。

日程第3、認定第1号、平成26年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

教育次長 藤岡崇文君。

○教育次長（藤岡崇文君） ただいま上程いただきました、認定第1号、平成26年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件につきましては、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の審査、意見をつけ議会の認定に付するものでございます。

事業及び決算の概要を御説明申し上げます。

本年度についても、次世代の人材を育てる学校教育を基本目標に6つの重点課題を掲げ、自立した社会の一員としての基礎を培う場として、確かな学力の向上とともに、共生する豊かな心と健やかな体の育成を目指しました。

平成26年度の大きな事業としては、昨年度に引き続き、広田小学校校舎大規模改造工事の2期工事を実施し、屋上には太陽光発電装置を設置し、環境にも配慮した建物となりました。

こうした結果、平成26年度一般会計決算額は、歳入総額2億7,115万4,862円、歳出総額2億6,650万7,485円、歳入歳出差引額464万7,377円となっています。

なお、決算に係る歳入予算に対する収入割合は93.7%、歳出予算での執行率は92.1%となっています。

決算書の5ページ、6ページをお開き願います。

事項別明細書で御説明申し上げます。

まず、歳入でございませう。

1款、分担金及び負担金、1項、分担金、2億2,962万6,969円でございます。

分担金につきましては、学校基本調査の児童生徒数により案分し、南あわじ市が2億467万5,671円、洲本市が2,495万1,298円でございます。

2款、使用料及び手数料、1項、使用料45万7,200円、広田小学校、広田中学校の体育施設使用料でございます。

3款、国庫支出金、1項、国庫補助金3,500万8,000円、広田小学校校舎大規模改造2期工事に係る学校施設環境改善交付金、特別支援教育就学奨励費補助金

でございます。

4款、県支出金、1項、県補助金95万6,000円でございます。小学校体験活動事業補助金60万円、トライやるウィーク推進事業補助金30万円、わくわくオーケストラ教室バス利用補助事業補助金5万6,000円でございます。

5款、寄附金については収入がございません。

6款、繰越金420万8,922円、前年度繰越金でございます。

7款、諸収入、1項、雑入89万7,771円でございます。

7ページ、8ページをお開き願います。

日本スポーツ振興センター保護者負担金が主なものでございます。

次に、歳出でございます。

9ページ、10ページをお開き願います。

1款、議会費74万5,235円でございます。定例会2回、臨時会2回に係る経費、議員報酬が主なものでございます。

2款、総務費、1項、総務管理費、1目、一般管理費23万8,059円でございます。特別職の給与が主なものでございます。

2項、監査委員費7万円でございます。

3款、教育費、1項、教育総務費、1目、教育委員会費81万5,155円、教育委員報酬が主なものでございます。

11ページ、12ページをお開き願います。

2目、事務局費1,749万765円。事務局費人件費負担金が主なものでございます。

3目、教育振興費2,092万1,014円でございます。小中学校臨時教員人件費、小中学校職員及び児童生徒に係る各種検査委託料、教育用コンピューター保守管理委託料、小中学校就学援助費が主なものでございます。

2項、小学校費、1目、学校管理費1,315万983円でございます。臨時職員

の person 費、施設及び設備等の維持管理等に係る経費が主なものでございます。

2 目、教育振興費 8 4 7 万 4, 9 6 9 円でございます。教材用備品購入費、外国人講師招致事業負担金、小学校体験活動事業補助金が主なものでございます。

3 目、施設整備費 1 億 5, 3 9 2 万 5 2 9 円でございます。広田小学校校舎大規模改造 2 期工事に係る経費でございます。

3 項、中学校費、1 目、学校管理費 1, 2 7 4 万 5, 6 4 6 円でございます。臨時職員の person 費、施設及び設備等の維持管理等に係る経費が主なものでございます。

1 7 ページ、1 8 ページをお開き願います。

2 目、教育振興費 7 9 万 7, 6 0 1 円でございます。教材用備品購入費、外国人講師招致事業負担金、トライやるウィーク推進事業補助金が主なものでございます。

4 目、施設整備費 1 2 3 万 4, 4 4 0 円でございます。平成 2 7 年度実施予定の中学校校舎大規模改造工事設計業務に係る経費でございます。

4 款、交際費 2, 8 7 4 万 3, 0 8 9 円でございます。長期借入金償還負担金、長期借入金償還利子でございます。

5 款、予備費については支出はございません。

2 1 ページをお開き願います。

実質収支に関する調書でございます。歳入総額 2 億 7, 1 1 5 万 5, 0 0 0 円、歳出総額 2 億 6, 6 5 0 万 7, 0 0 0 円、歳入歳出差引額 4 6 4 万 8, 0 0 0 円、実質収支額も同額でございます。

次に、2 2 ページの財産に関する調書でございます。

土地及び建物、物品につきましては増減ございません。

なお、決算の内容の詳細につきましては、別添決算附属資料主要施策の成果及び予算執行の実績報告についてをごらんいただきたいと存じます。

慎重御審議の上、認定賜りますようお願いを申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（阿部計一君） 提案理由の説明が終わりました。

これより、質疑を行います。質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（阿部計一君） 質疑がないようでございますので、これで質疑を終結いたします。

お諮りします。

本案については討論を省略し、直ちに採決したいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（阿部計一君） 異議なしと認めます。

よって、さよう決しました。

これより、認定第1号、平成26年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（阿部計一君） 異議がないようでございます。

したがって、認定第1号、平成26年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

日程第4、議案第7号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

教育次長 藤岡崇文君。

○教育次長（藤岡崇文君） ただいま上程いただきました議案第7号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）について、提案理由の御

説明を申し上げます。

8ページをお開き願います。

第1条で歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ2,641万1,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9,273万5,000円とするものでございます。

歳入歳出予算について、事項別明細書をもって御説明を申し上げますので、4ページをお開き願います。

まず、歳入でございます。

1款、分担金及び負担金、1項、分担金、1目、分担金2,188万9,000円を減額し、1億8,623万8,000円とするものでございます。

3款、国庫支出金、1項、国庫補助金、1目、教育費国庫補助金916万8,000円を減額し、5万9,000円とするものでございます。中学校空調設備設置工事に係る学校施設環境改善交付金が不採択となり、減額するものでございます。

6款、繰越金、1項、繰越金464万6,000円を追加し、464万7,000円とするものでございます。前年度の繰越金の追加でございます。

次に、5ページをお開き願います。

歳出でございます。

3款、教育費、1項、教育総務費、2目、事務局費189万3,000円の追加でございます。事務局職員人件費負担金の追加でございます。

3目、教育振興費40万1,000円の減額でございます。小中学校臨時教諭賃金の減額でございます。

2項、中学校費、4目、施設整備費2,790万3,000円の減額でございます。当初、予定しておりました中学校校舎等大規模改造工事の工事内容が変更になったこと、また、入札によります減額により、工事管理委託料及び工事費を減額するものでございます。

以上で、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）について、提案理由の説明とさせていただきます。

慎重に御審議の上、適切なる御決定を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（阿部計一君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（阿部計一君） 質疑がないようでございますので、これで質疑を終結します。

これより討論を行います。

通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより、議案第7号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（阿部計一君） 異議がございませんので、異議なしと認めます。

したがって、議案第7号、平成27年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

日程第5、一般質問を行います。

通告順により、議長より指名します。

1番、間森和生君。

○4番（間森和生君） 一般質問を通告しておりますので、学校教育の充実について、3点ほど質問させていただきたいと思います。

まず、1点目は、図書教育の充実という内容です。2点目は、芸術文化活動と触れ合う教育。3点目は、今後の施設、設備の改善計画についてお聞きしたいというふう

に思っています。

まず、1つ目ですけれども、学校教育というのは、南あわじ市の教育点検評価報告書の中にも記載されているように、重点課題として述べられている、特に確かな学力、それから豊かな心、それから健やかな体の育成などが挙げられています。次世代の人材を育てるということだけではなくて、もう一つは、子供たちの豊かな人間性を育てるためにどのような教育活動がふさわしいか、こういう点でも教育行政に課せられた課題は大きいものがあるというふうに思っています。

その中で、言語活動、それから探求活動、それから読書などの活動は子供たちの豊かな心や確かな学力を育成する上で大切な教育活動ではないかと思えます。

最近では、パソコンとかスマートフォンなどの普及で、子供たちの中でも、本を読むとか字を書くということなど、活字離れとか読書離れが進んでいると言えますので、そういう点では読書は大事かなと思っています。

特に、読書というのは活字に触れる、あるいは活字を読むということで、創造性や想像力、発想力などを育てていきますので、将来、多様な考え方がきちっとできる人間に成長していく、そういう肥やしになるものだと思います。

いわゆる、生きる力を養うのに、本とか、それから図書資料、こういうものが果たす役割というのは非常に重要だと思いますので、学校図書館の役割、その中でも図書の充実というのは今、求められているのではないかなと思えます。

文部科学省が学校図書館の充実を進めるということを目的に、平成24年度から学校図書館図書整備5カ年計画というのを策定して、ことしが4年目になっています。

平成28年度が5年間の最後の年になるわけですが、国の5カ年計画の中で見ますと、平成28年度までに文科省が定めた学校図書の本の数を達成するために、単年度で約200億円、5年間で1,000億円の措置をしているようです。

ただし、この財源は地方交付税の交付金に一般財源として地方財政措置をとられていますので、特定財源という位置づけではありませんので、どういうふうにするか

いうことについては各地方自治体に委ねられているわけですが、文部科学省の計画に従っていくならば、組合立の学校にも一定の基準でこの図書館図書の購入の予算というのがおりてきているのではないかなと思います。

平成26年度の決算書を見ますと、広田小学校が平成26年度に47万7,000円という計上になっていますね。一昨年度、平成25年度は47万円ということですから、7,000円ほどふえています。

広田中学校は、平成26年度31万1,700円ということで、平成25年度は28万6,500円ですから若干増加をしています。

そういう点では、一定、図書館の図書の整備に予算が増加しているわけですが、昨年もちょっとお聞きしたんですけども、今年度の状況を少しお聞きしたいのは、広田小学校と中学校のいわゆる標準冊数に基づく図書館の図書の冊数状況はどうなっているかをお伺いしたいと思います。

○議長（阿部計一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 今、御質問のありました学校図書館図書標準の定める冊数ですが、これは文部科学省が学級数等で定めております。

広田小学校の場合は、9,160冊になっております。平成26年度末の学校図書館図書、広田小学校の冊数は9,604冊で、既に100%を達成しております。

広田中学校の標準の定める冊数ですが、6学級の場合は7,360冊、特別支援学級を含めると8学級になりますので、その場合は8,480冊というのが標準ということになりますけれども、平成26年度末の学校図書館の冊数ですが、広田中学校のほうも古くなった本の処分なども含めまして、現在の冊数が5,808冊ということになっておりまして、標準冊数までは2,672冊不足になっております。

これらにつきましては、平成28年度を目途に標準冊数達成できるように、今後さまざまな面で努力していきたいというふうに考えております。

○議長（阿部計一君） 間森和生君。

○4番（間森和生君） 小学校の場合は標準冊数に達しているということですから、今後、購入していく中で、また古くなったものは廃棄処分しながら、新しい本と入れかえるということは十分いけると思うんですけども、お聞きしますと、中学校の場合は標準冊数に2,672冊足りないということですから、文科省の基準でいきますと、平成28年度が5カ年計画の最終年ということですから、この分を来年度1年で達成しようとするとなると1冊1,000円としても260万円近く要るわけですから、なかなか厳しいとは思うんですけども、そういう点ではこの広田中学校の図書の冊数の目標というのはどんなふうに考えておられますでしょうか。

○議長（阿部計一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） まず、読みたい本が自分たちの通う学校にあるという、そういう学校図書室を広田小学校も広田中学校も目指していきたいと思っております。

また、学力向上の部分においても、先ほど間森議員からありましたように、やはり言葉の力をつけるということでは大切な部分があると思いますので、そういった学力向上の部分からも図書室が充実するように。

また、いろんなボランティアグループが読み聞かせ等を行っておりますので、そういったことも含めまして、新刊図書等を含めた冊数の増を目指して今後とも取り組んでいきたいというふうに考えております。

○議長（阿部計一君） 間森和生君。

○4番（間森和生君） ぜひ、やっぱり一番身近なところに自分たちが調べたいもの、読みたい本があるということは非常に大事なことだというふうに思っています。

それと同時に、確かに学校だけではなかなかそろえきれない図書類があると思うんですね。洲本市なんかのお話を聞いてますと、図書館から各学校へ一定期間、図書を貸し出しをして学校で利用する、こういう制度がずっと定着しているようですけれども、南あわじ市、あるいはこの組合立の学校等ではそういう南あわじ市の図書館、福

良にある図書館と、あと3つ、図書室というのが設置されているというふうに聞いて
ますけども、そういう図書館や図書室からの貸し出し、利用というようなことにつ
てはどうなってますでしょうか。

○議長（阿部計一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 南あわじ市の図書館のほうが市立図書館として、一つ
になりまして、3つの図書室がありますが、特に広田のほうは広田公民館のほうに図
書室がありまして、非常に小学生、中学生、あるいは高校生もよく利用されていると
いうふうに聞いております。

先ほどありましたように、各学校においても朝読書等の取り組みもやっております
ので、学級担任の先生が図書館から本を借りてきて、その借りてきた本を子供たちが
その時間に借りて読むというふうなことで、図書館での本の貸し出し等についても利
活用させていただいております。

○議長（阿部計一君） 間森和生君。

○4番（間森和生君） ぜひ、学校だけでは十分賄いきれないものが図書館というところ
での冊数がたくさん、蔵書が28万冊ほどあるというふうに聞いてるんですけど
も、そういうところに行きますと、小学校低学年から中学校3年までのさまざまな内
容の図書資料もありますので、そういうところのも有効活用していただきながら子供
たちの学力、学力だけでなく、情操教育にもつながる内容でありますので、引き続
きお願いをしておきたいと思えます。

2点目に移らせていただきます。

せんだって、10月14日、15日に、広田小学校のオープンスクールの御案内が
ありましたので、私も1日目参加させていただきました。

1日目は、芸術鑑賞会というのが行われていたので見せていただいたんですけど
れども、劇団のアドベンチャーミュージカル、ジャングルブックという、こういうグ
ループがミュージカルをされておりました。全児童が参加をして見学するというこ

したので、私も少し見せていただいたんですけども、その取り組みについては3年に1回されてるといようなことと同時に、演劇集団を呼んで学校で上演するとなるとかなり予算がかかりますね。

ですから、PTAのほうで、保護者が負担をしてこういう演劇鑑賞活動をやっているんだというようにお話を聞かせていただいたんですけども、やはり、最近、学校で生の演奏とか、あるいは演劇を見る機会が非常に少なくなってきたときだけに、こういう子供たちにそういうものを、生で演奏や、あるいは演劇を鑑賞させる機会というのをできるだけ多く取ってやることも大切なんではないかなというふうに思っています。

中学校は県の事業でわくわくオーケストラというのが行われていますけれども、小学校はそういう点では、こういう演劇鑑賞とか芸術鑑賞というのが余りないのではないかなというふうに思うんです。

この資料を見てましたら、一つ、同一中学校校区を中心に6年生が一堂に集って音楽発表会など実施されてるといふにはあるんですけども、これは子供たち自身が発表する機会ということになってますけども、やはり音楽を聞く、あるいは演劇を見るという、そういう点での活動を少しでも助成していく、そういう計画とかはこの組合立の学校としてはないのかどうかお伺いしたいと思います。

○議長（阿部計一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（廣地由幸君） 先ほど、なかよし音楽会のお話が出たかと思うんですけども、なかよし音楽会は南あわじ、広田小学校も含めてですけども、6年生の子供たちが集まって合唱や合奏を行います、その後に、特別公演ということでプロの演奏家を招いて、南あわじの子供たちにその音楽鑑賞、プロの演奏家の鑑賞等をしております。ことしもオペラ歌手等来ていただいたところでございます。

それから、先ほどの御質問ですけども、一つとしては淡路人形座、これにつきましては南あわじのほうでは、いわゆるバス台、輸送代等、そういったものを無償化しております。

また、南あわじ市の音楽によるまちづくり実行委員会という委員会がありまして、そこにおいてはミニコンサートを無料でしていただいております。

あと、県の事業で、県民芸術の劇場、いわゆる劇団等の観劇等についての、これも無料でしていただく制度がありまして、これらに手を挙げていただいておりますというところがございます。

今年度ですけれども、新たに、ASAといいます、いわゆる東かがわ、鳴門、南あわじ市の3市で、鳴門市のほうで劇団四季の劇場鑑賞があるということで、これを無料でということで、ただ、今年度については希望するそれぞれの学校で負担していただけて行くというふうなことで取り組んでいるところがございます。

今後、新たな取り組みとして、そういったことを含めて検討していきたいというふうに思っていますし、広田小学校におきましてはボランティアグループによる人形劇やエプロンシアター、また読み聞かせ、そういったものも取り組んでいるというふうに聞いております。

以上でございます。

○議長（阿部計一君） 間森和生君。

○4番（間森和生君） 学校規模が小さいですと、一つの学校で演劇鑑賞とか音楽鑑賞するというのはなかなか予算的な規模も必要になってきますので、今、幾つか紹介していただいたような、全市を挙げて、子供たちのそういう演劇文化に触れる機会をぜひ今後ともふやしていただきたいというふうに思っております。

それから、そういうことと同時に、やはり低学年から、6年生なんかは発表しながらそこで生の演奏を聞くということですが、文化芸術活動というのは本当に小さいときからそういうことに触れていくということが非常に有用な内容でもありますので、できるだけ、低学年とか、あるいは幼稚園、保育所、そのあたりも含めて幼少期からそういうことに接する機会をぜひふやしていただけるよう要望しておきたいと思っております。

最後ですけれども、施設設備の改善についてですが、この広田小学校の大規模改修がほぼ終わりました。あと、空調施設等の設備改善というのが残っているというふうにお聞きしてるんですけども、今後、広田小中学校の設備、施設の改善というのは、主にどのような内容が計画されているのかお聞きしたいんです。

というのは、この前、学校にお伺いしたときに校長先生からもランチルームの改善要望も出しているんですけどもというような話もちらっと聞きましたので、そういう点では今後どうなのか、最後にお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（阿部計一君） 教育次長。

○教育次長（藤岡崇文君） 広田小学校の今後の施設の整備改善についてということで御質問でございますが、先ほど議員おっしゃっていただいたように、広田小学校につきましては、平成25年、平成26年、2カ年にわたりまして築約28年を経過しておりました校舎につきまして、老朽化対応ということで大規模改造工事を実施してまいりました。

今後についてですが、先ほど議員もおっしゃられたように、南あわじ市におきましては、組合立だけではございませんで、市内の中学校6校、小学校16校、計22校、合わせて幼稚園6園があるわけなんですけれども、全ての教育施設につきまして整備計画をつくっております、それに基づいて財政計画、財政課とも調整しながら年度計画をつくって事業を推進しているところでございまして、次年度以降につきましては、広田小学校では空調設備の設置工事を予定しておるところでございまして、先ほど御質問のランチルームにつきましても、整備計画の中では、すぐにではございませんけれども、何年か後に改修をすると、これは老朽化に伴う大規模改修工事ということでございまして、学校組合立の小中学校だけではなく、全ての学校におきまして、そういう大きな大規模改修を伴うような老朽化の対応した工事につきましては築約25年から30年程度の年度でもって改修をしていくような計画をしておるわけなんですけれども、それとあわせまして、日々の維持管理に伴うものでありますとか、営

繕工事につきましては、学校の要望等によりまして、改修すべきところは予算協議の中で調整しながら毎年度実施しているところでございます。

○議長（阿部計一君） 間森和生君。

○4番（間森和生君） 設備、施設というハード面だけでなく、ソフト面も含めてこれからも改善のほうをお願いしたいと思います。

子供たちは、毎年、年度上がって行って卒業していきますので、5年後、10年後となってしまうと、もう卒業してしまうわけですから、本当に子供たちの教育環境を充実させるということは非常に大切なことだと思いますので、引き続き、その点の努力をお願いを申し上げて質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

○議長（阿部計一君） 間森和生君の質問が終わりました。

これで、一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

会議を閉じます。

平成27年第3回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会を閉会します。

副管理者 洲本市長 竹内通弘君より御挨拶がございました。

○副管理者（洲本市長 竹内通弘君） 本日、平成27年第3回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会に議員の皆さん方には万事お繰り合わせの上、御出席をいただき、平成26年度一般会計の決算の認定、そして、平成27年度補正予算に御賛同いただき、ここに閉会できますことに厚くお礼申し上げます。

さて、当組合では、先ほど申し上げましたように、平成25年度、平成26年度の2カ年で小学校の校舎増築及び大規模改造工事を行いました。

今年度からは、中学校校舎の工事に着手いたしまして、本年度の夏休み期間中に空調設備の設置工事を完了することができました。

今後とも、子供たちが安心、安全な教育環境のもと学校生活を送れますように努力

してまいる所存でございますので、議員の皆様方におかれましても、なお一層の御指導、御鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

本年も残すところあと1カ月余りとなりました。季節がら、何かとお忙しくなるとは存じますが、お体を御自愛いただき、ますますの御活躍をしていただけますよう御祈念申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は、まことにありがとうございました。

○議長（阿部計一君） 閉会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

本定例会では、平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定、また、平成27年度一般会計補正予算について審議をお願いいたしましたが、議員各位の御精励により無事議了し、閉会を宣告できましたことはまことに御同慶の至りでございます。

朝夕寒さに冬の到来を感じるようになってまいりました。間もなく師走となり、何かとお忙しいとは存じますが、議員各位初め執行部の皆さん方にはお体を御自愛なされまして、ますますの御活躍を心からお祈りを申し上げ、閉会の御挨拶といたします。

ありがとうございました。

午前10時25分 閉会